

地域で輝く中学生 生徒の心を育む地域 ～ 大沢中学校 ～

仙台市立大沢中学校は、市の西部に位置し、緑豊かな自然に恵まれた環境にあります。日頃から、地域の方々が児童生徒を温かく見守るとともに、地域の行事に中学生が参加する様子も多く見られます。

5月と10月には、生徒会執行部が中心となって小中合同あいさつ運動を計画。川前小学校と大沢小学校それぞれの校門前で、有志の小学生と元気にあいさつをする姿が見られました。中学生は、「地域の人たちに素敵だなと思ってもらえるあいさつを心掛けている」「小学生や地域の方々が明るい気持ちになってくれたらうれしい」といった気持ちで臨んでいるようです。

実施後には、「小学生があいさつを返してくれてうれしかった」「地域の人たちが、笑顔であいさつしてくれた。大沢地区のいいところだと思う」「心があたたかくなった」という思いも聞くことができました。



大沢小学校前でのあいさつ運動



川前小学校前でのあいさつ運動

7月22日(月)～24日(水)の期間、大沢小学校で行われた「学習ボランティア」では、有志の中学生が、小学生に丁寧に教える姿が見られました。「人に教えるのは意外と難しかったけど、役に立てて誇らしい気持ちになった」「小学生が正解を書いたときに、自分もうれしい気持ちになる」と中学生。小学生からは、「中学生に教えてもらえることが新鮮。やる気が出る」といった声が聞かれました。

「小学生の時、ボランティアをしている中学生に憧れた。中学生になったらやろうと思っていた」という声もあり、小学生のために活躍する中学生の姿が、小学生のお手本となり、引き継がれている様子が伺えました。



小学生のそばに寄り添って学習を教える中学生



小学生も中学生も時間を決めて集中

学校支援地域本部スーパーバイザーの柳田さんは、中学生が地域で活躍することについて「中学生に自信を持たせることができる。今の中学生も、小学生の頃は当時の中学生に同じように支えてもらっていた。その姿を見ていたから、『今度は自分たちが』という気持ちを抱き、ボランティアに参加してくれている。小学生、中学生どちらの成長にもつながっている」と語ります。

また、大沢地区は、年齢に関係なく様々な人とコミュニケーションが取れる子どもが多いと実感しているようです。「日頃から、地域全体で子どもたちに声を掛けており、地域行事も盛ん。それが大沢地区の良さ。地域で子どもたちを育て、子どもたちが地域に愛着を持つ。この流れを、次の世代にも引き継いでいきたい」という想いを話されました。



「自分たちの世代も地域に育ててもらった」と語る柳田さん

大沢中学校の地域連携担当教諭は、地域とのつながりの大切さについて「一生懸命に取り組んだ達成感に加え、『本当に助かるよ』『さすが中学生だね』など、地域の方々からの温かな声掛けが、生徒の自己有用感を高めている。」と語ります。

今年度は、卒業生に職業講話を行ってもらうなど、地域の社会人と生徒をつなぐ企画も実施されました。大沢中学校と地域の協働はこれからも続いていきます。

※このほか数多くの地域行事で、中学生は活躍しています



大沢市民まつりでの出演（吹奏楽部とたいこ隊）



川前学区民親睦大運動会の運営ボランティア



学区内にある、2つの児童館それぞれの行事でボランティア活動

関連リンク

大沢中学校のホームページは、
こちら

